2024年5月23日

各位

会社名　　株式会社ＴＯＫＡＩホールディングス
代表者名　　代表取締役社長　　小栗 勝男
（コード番号：3167　東証プライム市場）
問合せ先　　常務執行役員経営管理本部長　　中村 俊則
（TEL.054－275－0007）

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状を分析・評価した上で今後の企業価値向上に向けた取組方針を策定し、2024年5月23日開催の取締役会にて報告しましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取組方針」をご覧ください。

以　上

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取組方針

株式会社 TOKAIホールディングス

証券コード：3167

2024年5月23日

©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

Agenda

１．現状分析
（１）当社のPBRの推移
（２）当社のROEの推移
（３）当社のPERの推移
（４）競合他社と比較した当社の位置づけ

２．企業価値向上に向けた取組み
（１）取組の全体像
（２）事業ポートフォリオ経営への取組み
（３）各事業の拡大・効率化の推進
（４）ESG経営への取組み

おわりに

©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

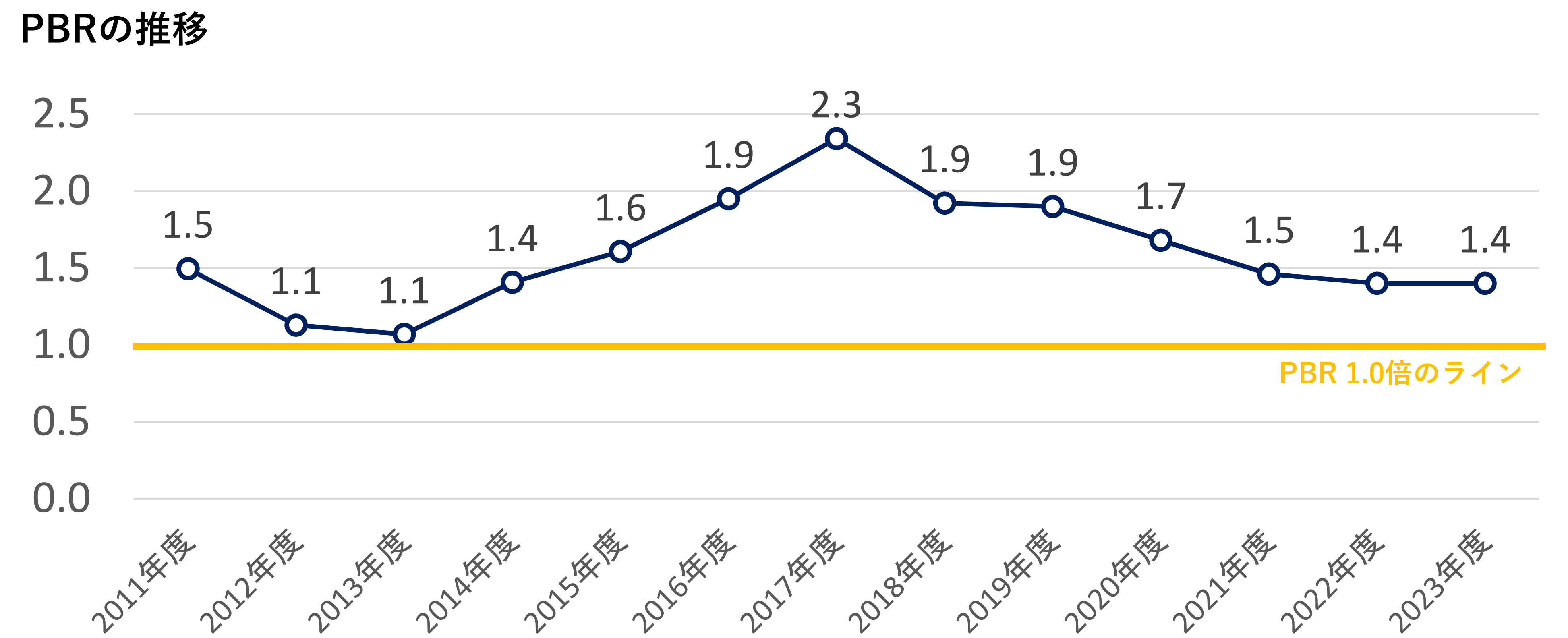
1．現状分析

©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

（１）当社のPBRの推移

■ PBRは、設立以来、安定的に1.0倍の水準を超えて推移しております。

総合的な市場評価		足元の収益性		これからの成長性
PBR	＝	**ROE**	×	**PER**
（株価純資産倍率）		（自己資本収益率）		（株価収益率）



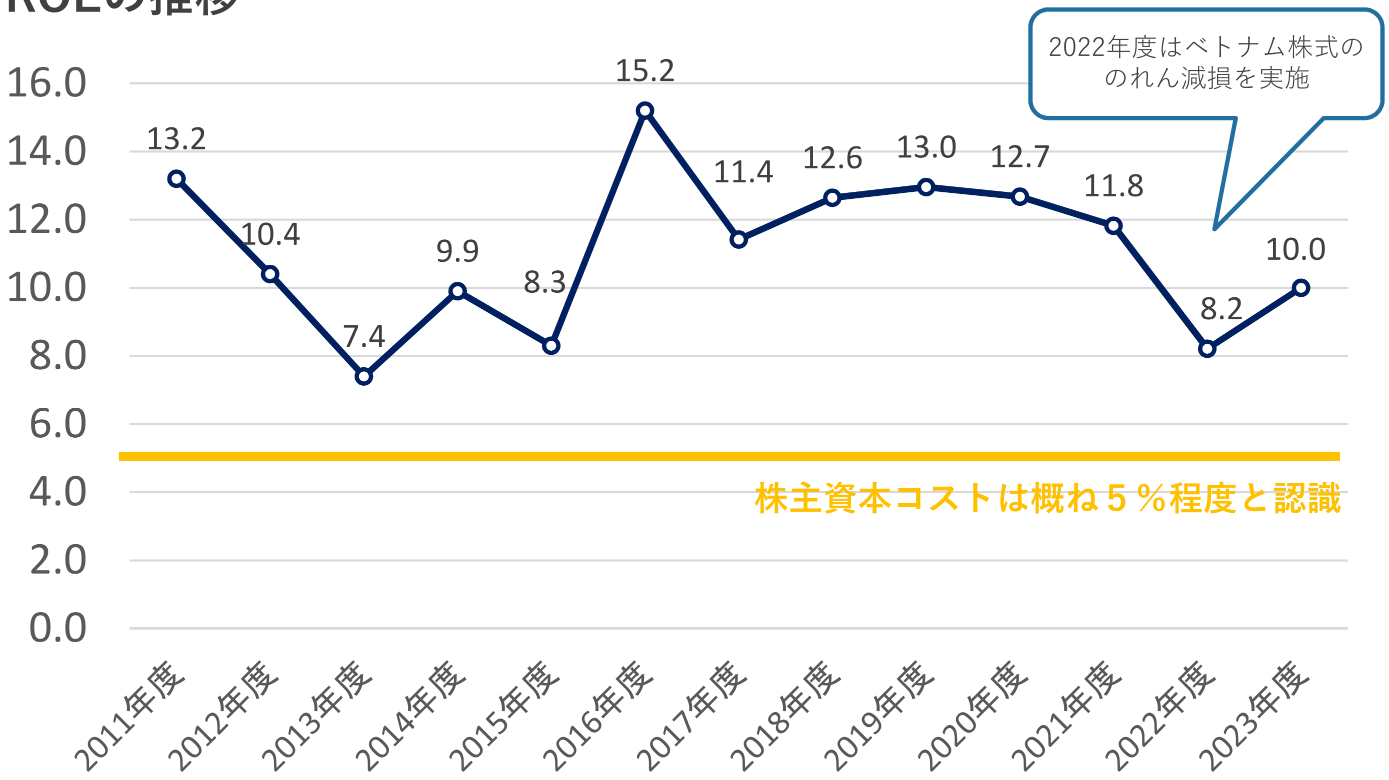
©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

（２）当社のROEの推移

■ ROEは、当社が推定する株主資本コストを安定的に上回って推移しております。

総合的な市場評価 **PBR**（株価純資産倍率） ＝ 足元の収益性 **ROE**（自己資本収益率） × これからの成長性 **PER**（株価収益率）

ROEの推移



✓ 株主資本コストは CAPMアプローチを用いて推定

- **リスクフリーレート** … 10年国債利回りを使用（0.6%程度）
- ＋ **市場リスクプレミアム** … 配当込みTOPIXに基づき算出
- × **β値** …当社の5年週次β値を使用（0.7程度）
- ＝ **株主資本コスト** … 5%程度

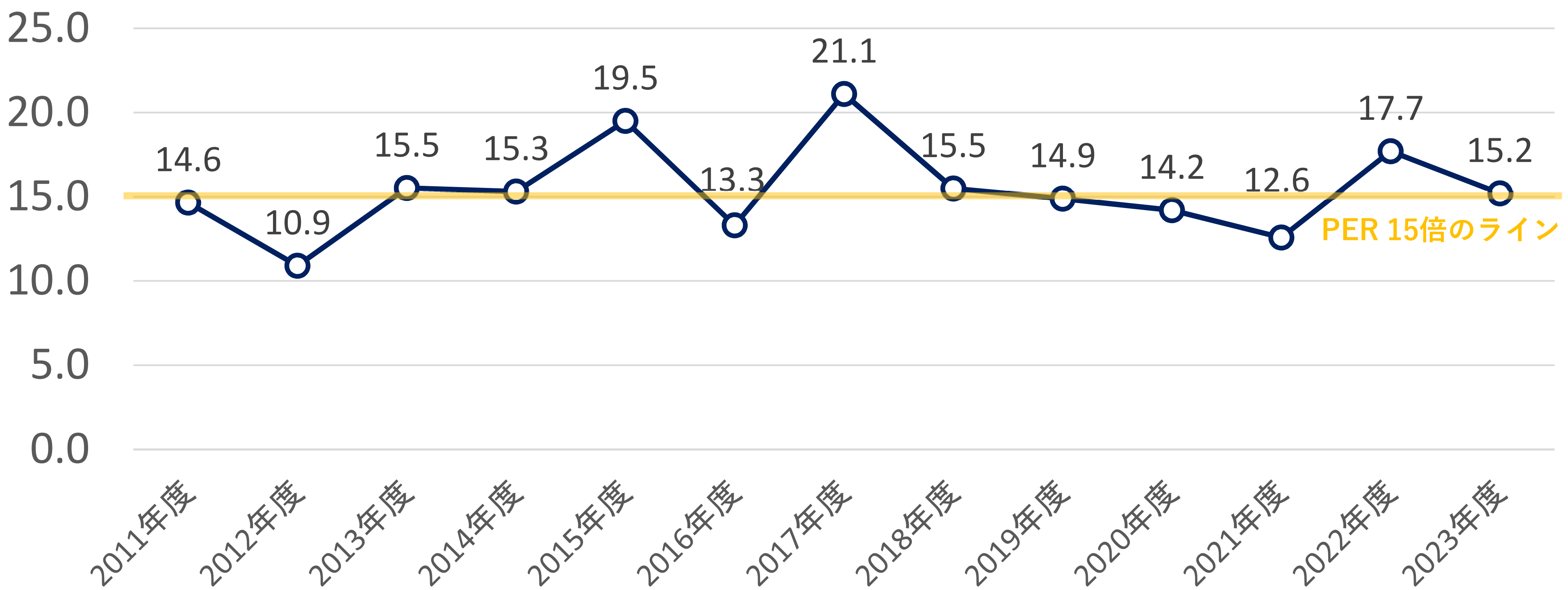
©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

（３）当社のPERの推移

■ PERについては15倍前後の水準で推移しており、当社のPBR向上に貢献しております。

総合的な市場評価 **PBR**（株価純資産倍率） ＝ 足元の収益性 **ROE**（自己資本収益率） × これからの成長性 **PER**（株価収益率）

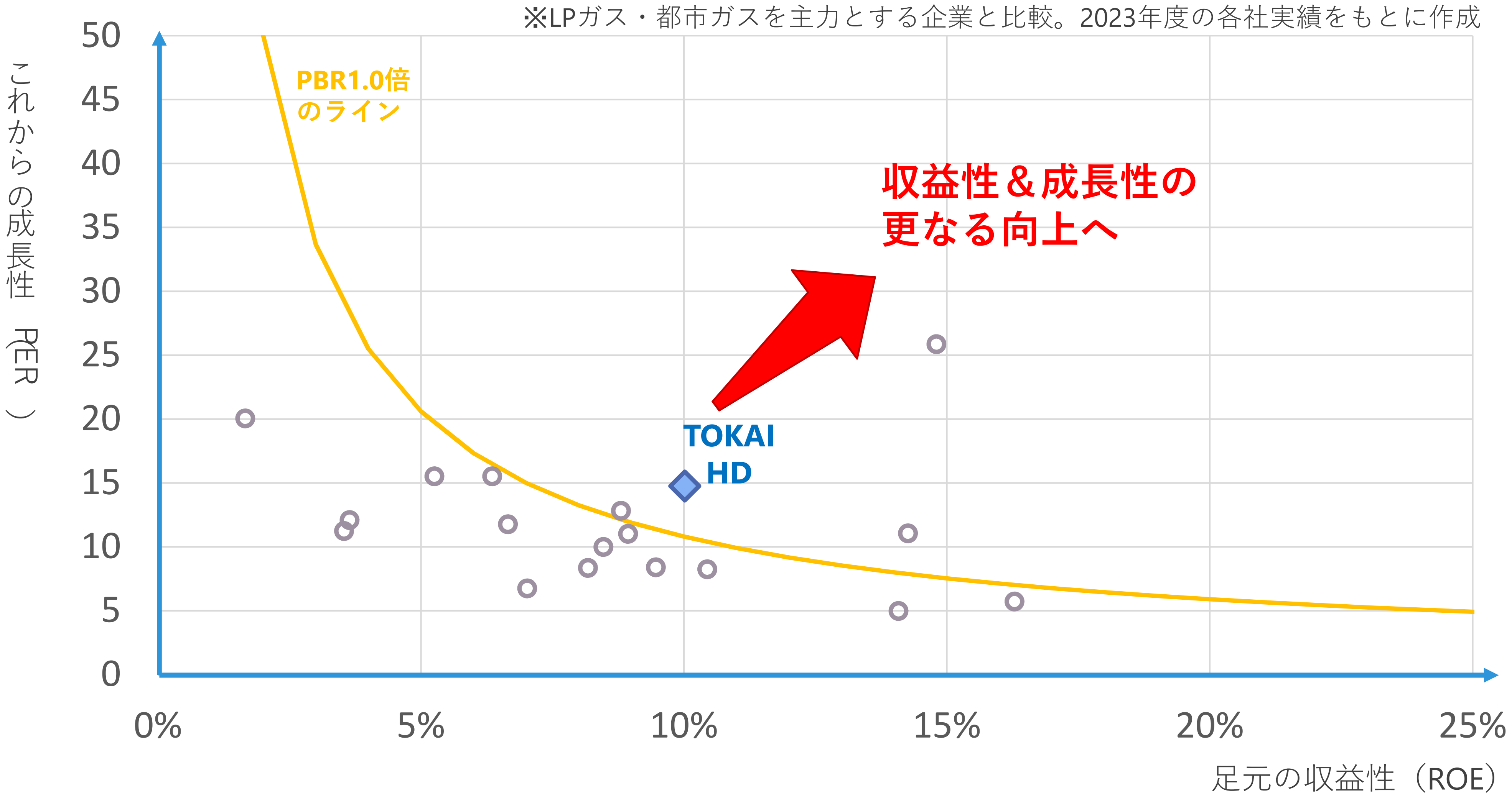
PERの推移



©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

（4）競合他社と比較した当社の位置づけ

■ 当社のROE×PERの位置づけは、競合他社と比べて高い水準にあります。
■ 今後も収益性・成長性の更なる向上を実現し、株主の皆様の期待に応えていきます。



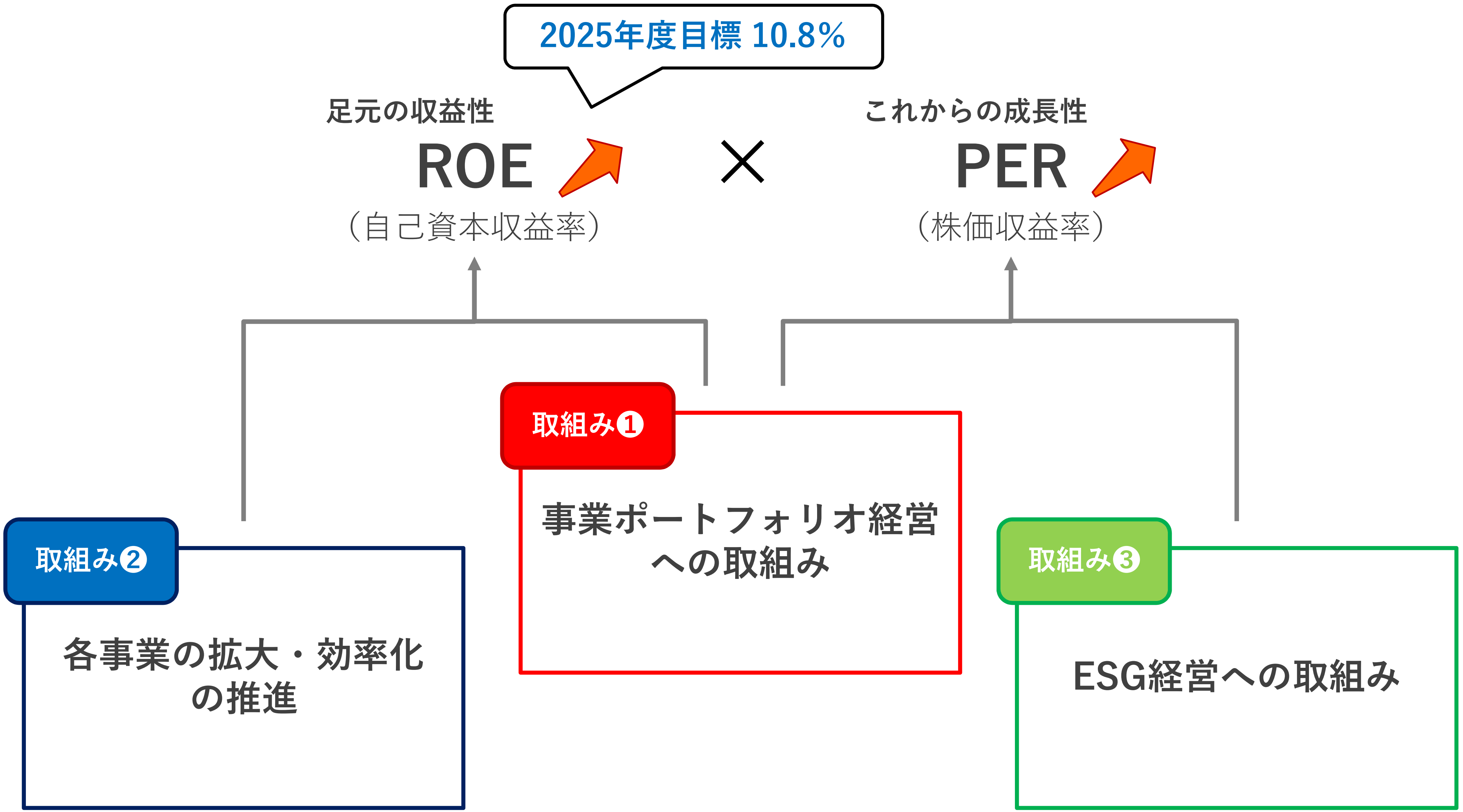
©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

２．企業価値向上に向けた取組み

©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

（１）取組みの全体像

■ 収益性と成長性の向上に向けて、３つの取組みを推進していきます。

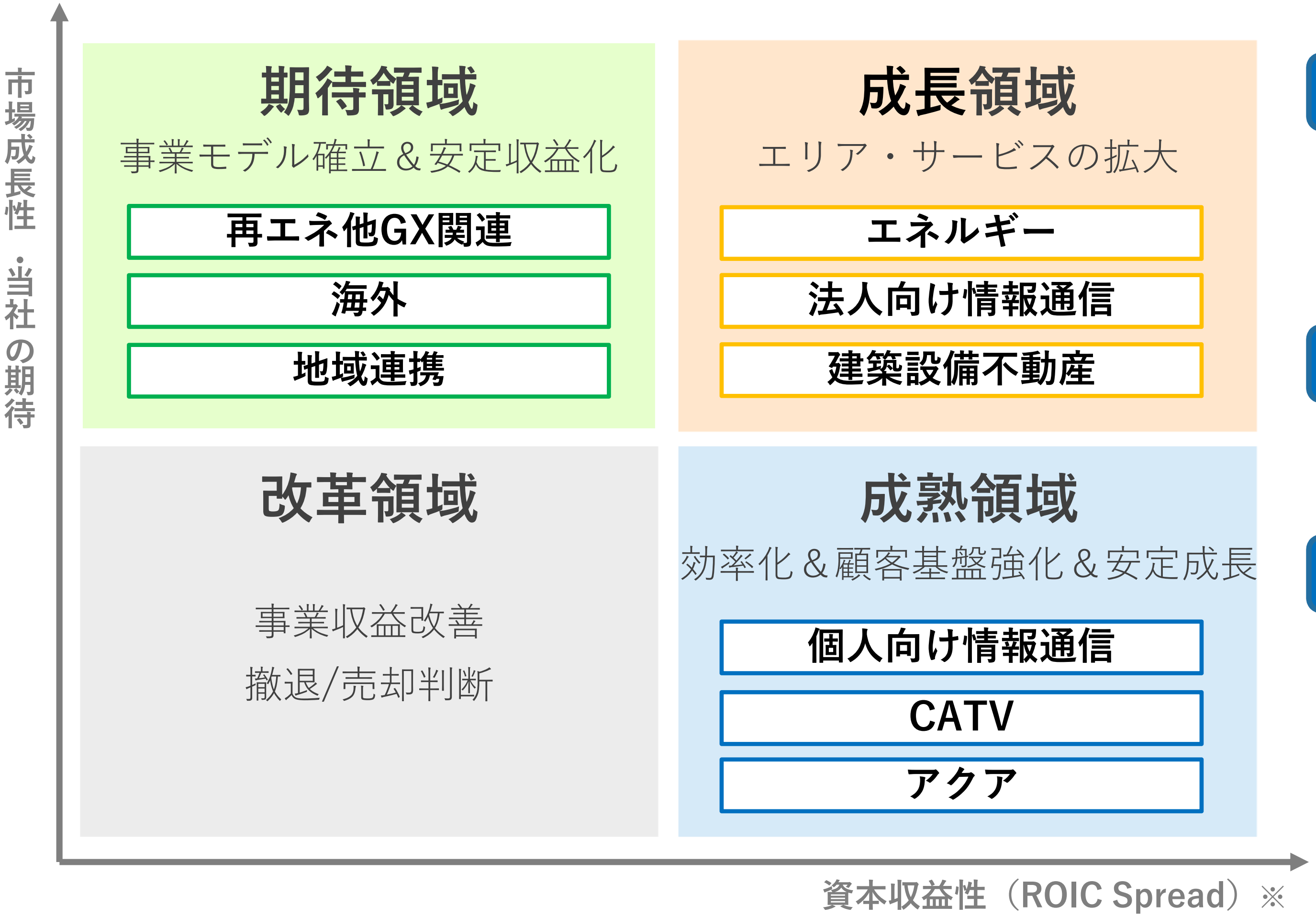


©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

（２）事業ポートフォリオ経営への取組み

■ 資本収益性と成長性の２軸で事業ポートフォリオを把握し、グループ全体最適を実現するポートフォリオ構築に向けたマネジメントを強化していきます。

当社の事業ポートフォリオ



事業ポートフォリオのマネジメント方針

1. ポートフォリオ上の位置づけに応じて、**各事業の拡大・効率化を後押し**するマネジメントを実施。
2. グループの持続的成長に向け、期待領域に**新規事業を創出する取組み**を継続。
3. 事業間連携を強化し、更なる**グループシナジーの創出**につなげる。

※事業ごとの資本収益性は、事業別ROIC Spread（事業別ROIC－事業別WACC）で算定。
事業別ROICは“NOPAT÷(運転資本＋固定資産)”で算定。　事業別WACCは事業ごとのリスクを織り込み、自社基準で算定。

©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

（３）各事業の拡大・効率化の推進

■ 事業ポートフォリオ上の位置づけを踏まえた拡大策・効率化策を事業ごとに推進していきます。

領域と方針	主要事業の取組方針
成長領域 ・積極投資を行い、**エリア・サービス拡大**を推進	**エネルギー** **顧客基盤拡充に向けた投資で、全国シェアを向上** ➢ M&Aやエリア拡大でシェア率の向上を推進し、持続的成長を図る ➢ DXによる業務効率化など、コスト削減策についても推進 **法人向け 情報通信** **積極投資でエリア・サービスを拡大し、成長けん引** ➢ インフラ投資によるビジネスエリア拡大 ➢ AWSプレミアパートナー取得やDX人財拡充により、成長に向けたデジタル基盤を強化
期待領域 ・**事業モデル確立**と**安定収益化**	**再エネ他 GX関連** ➢ 太陽光発電（PPA含む）や蓄電池の普及促進 ➢ 創エネ事業への出資 **海外** ➢ エネルギーではベトナム・フィリピン、情報通信ではインドネシア・台湾を中心に事業展開 **地域連携** ➢ 地域密着サービス、官民連携を推進

©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

（４）ESG経営への取組み

■ 持続的成長につながるESGへの取組みを加速させることで、更なるPERの向上を目指します。

Environment（環境）

■ **2050カーボンニュートラルに向けた低・脱炭素化の推進**

➢ **お客様のエネルギー利用におけるGX推進**
- ✓ 省エネ機器の普及促進
- ✓ 再生可能エネルギーの導入促進
- ✓ 地域と一体になった低・脱炭素化推進
- ✓ 原料の脱炭素化への対応

➢ **自らの事業活動におけるGX推進**
- ✓ DX推進によるLPガス事業の配送効率化・自動検針化
- ✓ 太陽光発電の自社設置
- ✓ 事業所で使用する電気の再エネ化

Society（社会）

■ **人財・組織の活力最大化**
従業員のウェルビーイング向上

➢ **“理想の個”の実現**
- ✓ 自律キャリア支援制度、リスキリング支援 など

➢ **“理想の組織”の実現**
- ✓ 多様な働き方の実現
- ✓ 働きがいを高める制度改定（ベア、抜擢人事など）
- ✓ トップレベル健康経営の実践
- ✓ 管理職への心理的安全性研修、コーチング研修

Governance（ガバナンス）

■ **コンプライアンス・ガバナンスの徹底**

➢ **コンプライアンス遵守とガバナンス強化が定着した組織風土を醸成**
- ✓ 役員・管理者研修を強化し、組織のさらなるコンプライアンス意識向上を推進
- ✓ 内部統制を強化し、組織全体にガバナンスを浸透

©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

TOKAI GROUP

おわりに

©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

暮らしに社会にもっと笑顔を。

■ 新コーポレートメッセージ・コーポレートスローガンのもと、当社グループは全社一丸となって、企業価値の向上並びにサステナブル（持続可能）な成長を目指してまいります。

私たちは、自由な発想とチャレンジで、暮らしに、社会に、笑顔を広げていきます。

私たちTOKAIグループは、1950年12月の創立以来、常にお客様の視点に立ち、安心・安全、便利・快適なサービスを多角的に提供しています。

これらのサービスを支えているのが、グループ従業員の「自由な発想」と「チャレンジ力」です。

この原動力から生まれる新たな提案を通じて、より良い暮らし、より良い社会を創出してまいります。

暮らしを明るく楽しく、そして元気な”笑顔”を、地域へ、社会へ広げ、明日に夢が持てる、サステナブル(持続可能)な社会の実現に貢献してまいります。

©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

金額は百万円未満切り捨て、それ以外を四捨五入で表示しております。

本資料に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社TOKAIホールディングス　経営管理部
〒105-0022　東京都港区海岸1-2-20
汐留ビルディング19階
TEL：（054）275-0007
FAX：（054）275-1110
https://www.tokaiholdings.co.jp
e-mail： hd-info@tokaigroup.co.jp

暮らしに社会にもっと笑顔を。
More smiles for a better life

©2023 TOKAI Holdings Corporation. All Rights Reserved.